

但馬のハラアカコブカミキリ (続報)

小西和夫

2021 年 5 月, 北但馬 (香美町香住区御崎) でハラアカコブカミキリ *Moechochypa diphyssis* (Pascoe, 1871) を多数確認し, 本誌で報告した (小西, 2021).

2022 年は 5 月 4 日, 香住区の三尾トンネルから三尾地区へ下る道路に, 山から 1 頭が飛来. その後, 蘇武岳南西斜面 (村岡区寺河内) の伐採地の山土場で, 林道脇の新鮮な伐採木上に 5 月 22 日に 2 頭, 6 月 9 日に 4 頭を確認. 6 月 16 日には上山高原の路上を這う 1 頭を目撃した. 昨年多産した香住区御崎の伐採地では 5 月 23 日と 6 月 9 日に, それぞれ 2 頭づつしか確認できなかった. 多くの子孫は劣化した材を見限って拡散していったのだろうか.

2021 年 4 月には新温泉町でも確認されており (松岡・大生, 2022), 北但馬にはすでに定着したと思われる. また今回, 但馬中部でも生息が確認されたことから本種は但馬地方全域に分布を拡大しているとみられる.

○参考文献

小西和夫, 2021. ハラアカコブカミキリ, 北但馬に定着か. きべりはむし, (44)2: 46

松岡遥都・大生唯統, 2022. 兵庫県新温泉町におけるハラアカコブカミキリの記録. きべりはむし, (45)1: 97

(Kazuo KONISHI 兵庫県西宮市)



図1 ハラアカコブカミキリ (香住区三尾 2022.5.4).



図2 ハラアカコブカミキリ (村岡区寺河内 2022.6.9).



図3 蘇武岳南西斜面林道脇の伐採木 (2022.6.9).



図4 ハラアカコブカミキリ (上山高原 2022.6.16).